

# — 明日への生活の資料に — 家計簿のつけ方講習会

文部省委託 日光婦人学級開設



1月20日、市内松原町公民館で婦人学級が開かれた。これは、明るい、住みよい、生活を営むためには、まず家計簿をつけて長期計画を立てる必要があるということからスライドにより、具体的な例をあげて家計簿のつけ方説明と、指導が行なわれたもので市内の主婦が約40人参加した出席したある主婦は「家計簿をつけるということは、明日への生活の資料として非常に貴重なことであり、また実行することは忍耐力が必要であるが、家族のものが協力してやれば必ず実行できると思う。わが家の生活の安定をはかるために、これを契機にぜひ実行したい」と言っていた。

〔写真 家計簿のつけ方の説明を熱心に聞く主婦〕

## 日頃から貯蓄でらくな納税を のばせ信用のばすな税金

### 納税奨励標語入賞作品

納税を 清小六年 沢本明美 (以下入選)  
進んで完納明るい郷土  
所小六年 中里光恵  
税金はみんなのくらしに生きる金 安小六年 天海栄子  
納税で心のこもった橋や道 清小六年 薄井和彦

★中学校の部  
納税で明るく育つよい日光 清小六年 石川恵美子

(特選) のばせ信用のばすな税金 東中二年 沼田充代 (以下入選)  
税金をおさめてつくろうよい日光 東中二年 大久保実  
完納し豊かにのびゆくわが郷土 東中二年 栗原滋民  
納税は義務だつとめた人の道 東中二年 白井加津江

## 中宮祠測候所前に 防火貯水槽設置

中宮祠地区は湖水があるにも拘わらず火災の最も多い冬期間中は減水して水利が非常に悪くなっている。しかし湖岸付近の建物は水利が悪いといっても、まだ数台は接岸可能であり心強いが中禅寺付近から華嚴滝入口までの間は水利の傾が最も悪く、消火栓が二基あるが圧力が低く全くの無防備に等しかった。

このため、市ではこれを重視して、このたび中宮祠測候所前の通学道路上に県費補助で工費五十四万円、四十五立方メートル級の防火貯水槽を設置した

これにより、付近百四十メートル以内の建物に火災が起きても初期消火に大いに役立つことになった

## 二社一寺↑↓消防署

### 緊急時の直通電話を設置

二社一寺から消防署に即時通話ができる直通(緊急)電話がこのほど設備され、国宝、重要文化財などの防災面が更に強化された。

これは三年前に重要文化財本殿堂が全焼した時、通報連絡にいくぶん遅れた感があったため、その教訓として各社寺の協力により設備されたもの

で今後の役割と期待は大きいものがある。  
このように防火施設の完備にもなつて、民俗資本の焼失という過ちを二度と繰り返さぬよう防火の徹底を図ることも必要である。

### 年賀はがき当選番号

等級	番号(各組共通)
特等	下2桁 07
	107825
	下2桁 29
	247329
	711229
	下2桁 43
	下3桁 749
	353851
	下3桁 454
	237301
5等	732035
	11979
	下5桁

賞品の引換は7月19日までです。